

vol. 159

発行日 令和6年7月1日
発行 社会福祉法人 天竜厚生会
発行者 伊藤 栄
編集 総務部 総務課

あかまつ



Focus 1
仕事の魅力紹介 (P.11)



Focus 2

入社式を開催
しました!!
(P.18)



Contents

Akamatsu
vol. 159
2024.7.1

目次	1
ごあいさつ ～理事長就任にあたって～	2
新たな旅の始まりに	3
中期経営計画(ISO品質方針・品質目標)	4
2023年度 決算報告	5
役員・評議員・管理職人事異動	7
第13回実践発表会開催報告	8
厚生労働省での出向を終えて	9
全国社会福祉協議会での出向を終えて	10
仕事の魅力紹介	11
施設の活動紹介	13
JAICA草の根技術事業(草の根パートナー型)カンボジア王国幼児教育カリキュラムに基づく「遊びや環境を通した学び」実践のための基盤構築事業への協力について その4 第2回現地指導報告と事業の終了に向けて	15
天竜厚生会の研修を終えて	16
「障がい児事業所版ランドデザイン」の完成	17
入社式を開催しました！！	18
地域で働く場を作る ～天竜エコテラスでの実践～	19
ふじのくに型学びの心育成支援事業春合宿 ～地域における1DAY職業体験の実施～	19
2024健康経営優良法人認証	20
2023年度 福祉サービス第三者評価 受審状況	20
能登半島地震に係る静岡D-WATの活動を終えて	21
被災地ボランティア活動について	21
助成・補助事業完了報告	22
今ふりむいて	23
苦情受付の公表について(定期報告)	24
善意の皆さま	25
子育て部門エリアパンフレットが新しくなりました！	裏表紙
毎年恒例の天竜厚生会納涼花火大会を開催します！	裏表紙
みゅうの丘合同イベント(仮称)開催します！	裏表紙



ごあいさつ ～理事長就任にあたって～

理事長

伊藤 栄

6月26日の天竜厚生会理事会におきまして、社会福祉法人天竜厚生会の第7代理事長として就任することとなりました。いち職員であった私が、理事長になるということには、幾許かの戸惑いと畏怖の気持ちが強いのですが、諸先輩方等の後押しをいただき、お引き受けすることとなりました。

昭和52年卒業と同時に就職しました私は、同世代の人たちとともに、天竜厚生会の礎を作り上げた草創期の方々から直接指導を受けて来られた諸先輩方と共に働くことができました。

ニーズはあるが制度にないサービスについては、公益的な事業として受け入れつつ、制度そのものを作る働きかけから取り組む姿勢には強い感銘を受けました。

天竜厚生会は、先達者たちの日々のこうした取り組みの中から出来上がってきたということ、再度認識し直して、それを次世代に繋げていくことが、私に課せられた使命であると考えております。

そのうえで、私が果たすべき役割は二つあると考えております。一つは、これまで培われてきた組織や財政基盤をより確固たるものにする事です。たった7人で創設した天竜厚生会が、いまや2,400名の職員を擁し、入所・通所系の事業だけでも毎日約4,500名の方々にご利用いただいております。ご利用者にとっては安全で、安心して質の高いサービスが継続的にご利用できますように、また職員にとっては将来に対する不安なく責任を持って業務に臨めるように、組織や支援を維持するための財政基盤を固めることが重要であります。前理事長をはじめとする歴代理事長の時代に、財政基盤の確立や組織の検討は、継続的に議論され、段階的に確立されてきております。今後におきましては、組織の

課題の抽出や見直しを重ねるとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に適合する現行事業の統廃合や新規事業に取り組み、より強固なものとしていきたいと考えます。

もう一つの役割は、後継世代の育成であります。天竜厚生会は、昭和40年代から50年代にかけて、また平成においても地域ニーズ、社会ニーズに合わせて事業を拡大してきました。今後の急激な少子化に伴う高齢者人口の割合増加や人口そのものの減少による社会福祉ニーズの変化に即応できる人材の育成と確保は、社会福祉法人として事業を継続できるか否かの重大かつ喫緊の課題と認識しております。天竜厚生会の創設の理念とともに、天竜厚生会が行う事業を次世代に繋げていくことが大きな役割と考えております。

社会福祉を取り巻く今日の状況は、順風と言えるものではなく、直面する多くの課題を抱えております。介護保険法等各法の見直しが頻繁にあり、そのような見直しがあっても、ご利用者・ご家族や職員が混乱することが無いように、体制を整備しておく必要があります。また、制度の狭間にあつて、十分なサービスが受けられないでいる人達や、制度はあつても、提供するサービス事業者が無くて、生活困難な状況におかれている中山間地域での取り組みの継続は、天竜厚生会に課せられた重要な役割の一つであると考えております。

天竜厚生会が、さらに将来にわたつて、その存在が地域にとって価値ある法人として、地域ニーズを把握しながら皆様のご期待に応えられるように努力を続けてまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻をいただきますよう宜しくお願いいたします。



新たな旅の始まりに

前理事長

山本 たつ子

「月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり。」奥の細道の冒頭の一節です。退任の時期を迎え、この言葉が脳裏に浮かびます。私にとって天竜厚生会の就業は長い旅であり、その旅が終わろうとしています。それは新しい旅の始まりでもあります。

理事長職でのこの十数年、本当に多くの人々の支えやお力をいただき、続けることが出来ました。深く感謝致しております。

就任時に自身に課した使命は、先人達の想いを後世に伝えていくことです。脚下照顧の言葉どおり、足元をしっかりと見つめておくことは重要です。私が言葉で伝えるのには限界があり、それでも職員一人ひとりに知ってもらいたいと思ひ、「私たちの法人天竜厚生会」、「百々山物語」を刊行致しました。また、社会福祉法人のコンプライアンスを組織として達成することも、私の中での主要な課題でした。社会福祉法人は、一般企業と比べて組織的な経営判断が鈍いと思われがちです。組織としての運営基盤を確立することがとても重要であり、ISO9001を組織的の事業推進のツールとして取り組むことで、少しは進めたかなと感じております。

しかしその一方で、私自身の予測より早く到来したのが人材確保の問題です。募集すれば人が来る時代は終わり、労働環境の改善や働きやすさを通じて、魅力ある職場として内外に周知する必要があると感じながらも、思い惑うことの多い日々でした。20代、30代、40代、50代等、世代ごとに家庭環境も異なり、働き方や意識は変わると思ひます。世代に応じた働きやすい環境を整えることが必然であると感じていますが、それには全ての世代の理解と共感が必要です。一歩ずつ進めてまいりましたが、十分に実現するまでには、少し時間がかかると感じております。

もう一つが、人材確保の手段としての外国人採用です。在日外国人については、20年ほど前

から取り組んでおりましたが、その後EPA、留学生、特定技能と受け入れを進めてきました。受け入れにあたっての留意事項は、受け入れ環境の整備であり、何より同じ仲間として受け入れる職員側の心構えが大切です。単なる労働力の充当としてではなく、同じ仲間として長く勤務してもらえよう、良好な関係性を築いてくれることを期待しています。また外国人採用者に対しては、日本語能力の向上、介護技術の習得に加えて、日本の文化も学ぶという多忙な日々となりますが、常に前向きな姿勢に、いつも感心させられています。

今、振り返って、理事長として十分その役目を果たしたか、道半ばと感ずる点も多々ありますが、むしろこれからは若い世代が牽引していくべきであり、天竜厚生会の未来を託したいと考えています。

長く福祉に身を置き、弱者に寄り添う我々が成すことは、生命を守ること。人間としての尊厳をもって命を守ることです。50数余年の福祉職員として、様々な出会いや別れがありましたが、異食症による事故で亡くなった、あるご利用者のご家族から、「家では守り切れないから施設に預けたのに。」と言われたとき、私達はプロとして業務と向き合っていかなければならないことを痛感致しました。若い時代の体験は、今なお心に響いてきます。業務にあたる時、常にこの想いを忘れないよう心掛けてまいりましたし、理事長就任後も、この想いが職員の下支えになることを心してきました。

冒頭にも触れましたが、長い旅の終わりを無事迎えることが出来たのは、職員はじめ多くの皆様のご支援があったからこそであります。皆様への深い感謝と共に、これからの天竜厚生会のご支援をお願い申し上げ、お別れのご挨拶とさせていただきます。これからは新たな旅路への歩みを始めます。

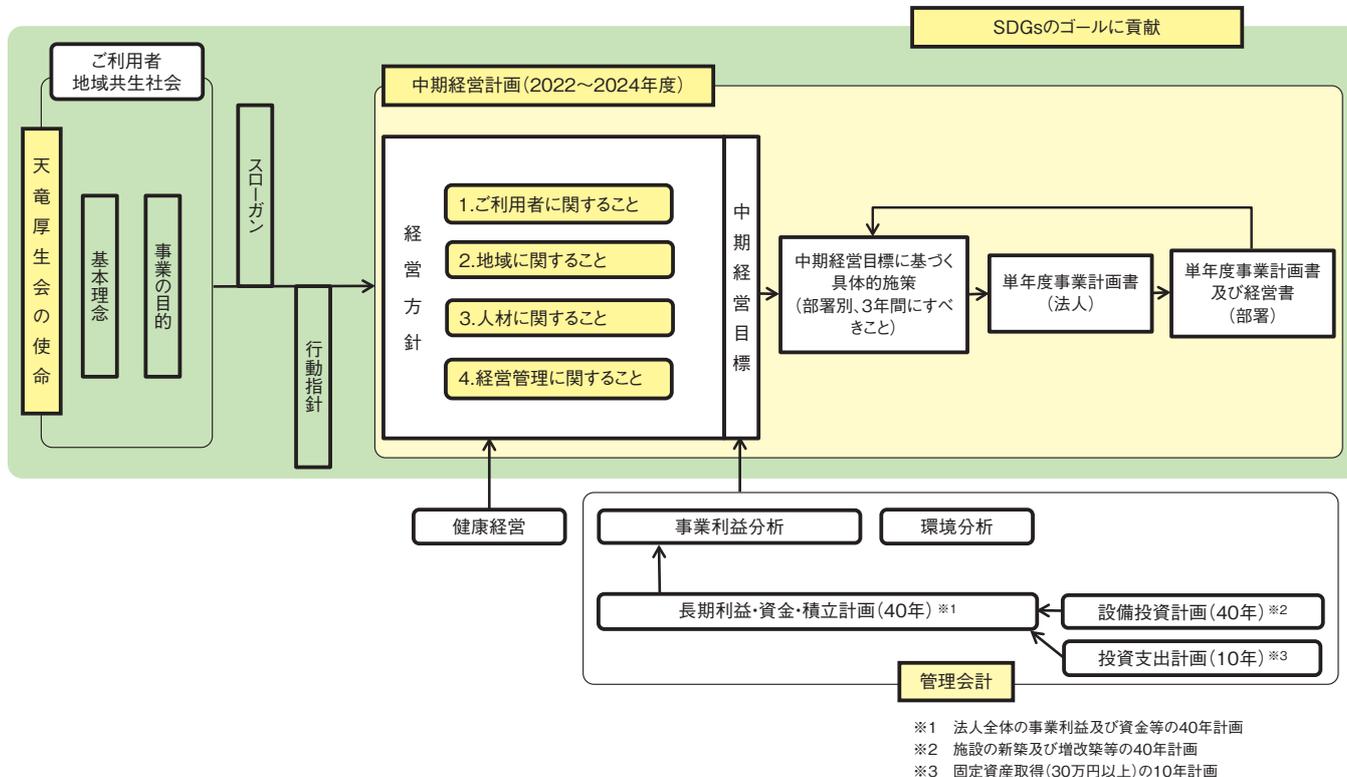
中期経営計画 (ISO品質方針・品質目標)

「ISOの仕組み (品質方針・品質目標)」を用いて、中期経営計画の達成に取り組む

※ここでいうISOとは、天竜厚生会が品質マネジメントシステムとして採用しているISO9001:2015を指す。

天竜厚生会事業計画策定関連図

ISO品質マネジメントシステムによりプロセスアプローチ[※]及び継続的改善 (PDCAサイクル) 等を行う。
 ※プロセスアプローチ: プロセスを明確にし、その相互関係を把握し、運営管理することと併せて、一連のプロセスシステムとして運用すること。



※1 法人全体の事業利益及び資金等の40年計画
 ※2 施設の新築及び増改築等の40年計画
 ※3 固定資産取得 (30万円以上) の10年計画

【第7期中期経営目標】

中期経営目標	人材	職員の自己実現に向け、その資質や専門性をより発揮させるため、今以上の人材育成と能力開発に取り組めます。
	経営管理	社会的ニーズに基づいた事業継続のため、健全かつ安定的な財務基盤を確立します。

【2024年度部門別具体的施策 (まとめ)】

部門	領域	中期経営目標に基づく具体的施策 (まとめ)
施設サービス事業部	人材	強度行動障害のあるご利用者への支援を実践し、成果を組織で活かします。モチベーションマネジメントを重視し、専門性向上を図ります。ご利用者の満足度向上や多職種連携を推進し、サービスの質を高めます。外部研修への参加を計画し、理念に基づく支援を提供します。
	経営管理	施設入所支援で空床日数を減少させ、高稼働を維持します。在庫管理や支出削減にも取り組みます。また、ご利用者の満足度向上や多職種連携を推進し、専門性向上を図ります。
就労支援事業部	人材	業務における「生産」について、研修を開催します。研修等により蓄積した知識、経験を基にご利用者のニーズ把握に努め、ご利用者の満足度を高められるよう検討し、具体化を図ります。また事業継続の為、必要な資格取得を推奨します。
	経営管理	過去3年間のクレーム処理を分析し、全体で共有します。また引き続き積極的なご利用者対応を進める中で、検討した目指すべき体制について、段階的に具体化を図ります。
地域福祉事業部	人材	専門性向上やチームアプローチを重視し、多職種連携を図りながら、ご利用者の満足度向上や在宅サービスの提供に取り組めます。
	経営管理	稼働率上昇や収支改善に取り組み、新規ご利用者の受け入れを促進します。また、業務効率化や省エネにも注力します。
子育て支援事業部	人材	幼児期の力を育て、教育・保育の質向上に努め、子どもの成長につなげます。環境を通じた学びや専門性向上、またアンケート結果を活用し環境を再構築します。子どもの心に寄り添う保育、専門性強化、研修実施、尊厳保護、個別対応、自己研鑽、知識共有、食育、魅力ある教育を目指します。
	経営管理	1・2歳児の年間稼働率90%~100%を目標に、要件を満たす加算を取り入れ、安定的な経営を維持します。利用者が快適な環境で利用しやすい園を目指します。建物の維持と管理、省資源への取り組みも重視します。
監査指導課・総務部・財務部	人材	業務クオリティ向上やスキルアップのための研修や情報収集、リスクマネジメント強化、資格取得、健康管理に取り組めます。
	経営管理	経営課題の指標作成や給与・広報の効率改善、採用活動の検証、業務ツール活用、作業環境整備、品質マネジメント改善を実施します。

2023年度 決算報告

財務部経営企画課

社会福祉法人における決算書は計算書類と言われ、主な計算書類には資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表の3種類があります。資金収支計算書は支払資金の増減、事業活動計算書は経営成績、貸借対照表は財政状態を示す計算書類であり、それぞれ役割が異なります。本稿では前述の計算書類を使い決算報告をさせていただきます。当法人の計算書類は次ページの通りです。

初めに資金収支計算書です。資金収支計算書は支払資金の増減を示す計算書類です。支払資金とは運転資金のことであり、株式会社ではキャッシュフロー計算書と言われ、現金の動きを示す計算書類です。社会福祉法人会計では手元にある現預金だけでなく、1年以内に入ってくる現金(流動資産)、また反対に1年以内に支払う現金(流動負債)等も同時に計算しています。資金収支計算書下段の当期資金収支差額は約4億5千万円※1となっており、2023年度の活動で支払資金が約4億5千万円増えたことを意味しています。また最下段には当期末支払資金残高が記載されており、2024年3月31日時点で保有している支払資金が約87億5千万円※2であることも分かります。目的を明確にして積み立てる積立金と異なり、支払資金は流動性が高い資金です。感染症や物価高騰等により先が見通せない社会環境になりつつありますが、不測の事態に備え支払資金を増やしておくことは大切なことです。

次に事業活動計算書です。事業活動計算書の下段にある当期活動増減差額には約3億4千万円※3の数字が記載されています。これが2023年度における当法人の経営成績であり、利益です。符号がプラスであることから黒字であったことが分かります。上段にあるサービス活動収益計は約143億8千万円※4となっています。これは当法人の福祉サービスの提供によって得た収益です。右側に増減の欄があり、2022年度と比較して約2億8千万円※5増えていることが分かります。決算書は当法人の1年間の活動を数字に表したものです。これらのことから当法人は2022年度と比較して、約2億8千万円分多く地域のニーズに応えたということになります。当法人の基本理念は「九十九匹はみな帰りたいれど、まだ帰らぬ一匹の行方訪ねん」です。基

本理念には「地域で生活している人たちを常に意識し、社会福祉事業に携わる専門職として地域社会の中で求められているニーズを探し出す」、「地域社会の中で福祉的な支援の狭間にいる、最も困難な人たちを求めていく姿勢」が込められています。2023年度は基本理念を約143億8千万円分実現し、2022年度と比較して約2億8千万円分多く実現できたと解釈できます。より多くの方に手を差し伸べることができたのです。基本理念を実現するためには費用も掛かります。サービス活動費用には本業における費用として約140億8千万円※6が記載されています。そして本業である福祉サービスの提供によって得た利益は約2億9千万円※7(サービス活動増減差額)です。サービス活動外増減の部、特別増減の部を経て最終的な利益(当期活動増減差額)は約3億4千万円※3でした。

最後に貸借対照表です。最下段左欄に資産の部合計があり、約353億2千万円※8となっています。これが当法人の資産額であり、2024年3月31日現在における当法人の価値になります。353億2千万円の価値があるということは、同時に353億2千万円の責任も生じるということです。ご利用者に対する責任もさることながら、地域住民の皆様や国県市町等の行政に対しても責任が生じます。右下欄にはその他の積立金があります。2022年度から約1千万円減り、約65億9千万円※9です。事業活動によって得た利益等から約4億5千万円※10を積み立て、同時に約4億6千万円※11を取り崩し設備投資等に充てました。通常、株式会社の利益は株主に配当されますが、当法人の利益はご利用者や地域に再投下します。再投下はサービスを存続させたり、質の向上を図る目的から、ご利用者だけでなく、当法人が所在する地域や当法人職員へ再投下するという意味にもなります。利益を適切に再投下し、当法人が安定的にサービスを提供することで、地域住民の皆様の生活に対する安心を支え、また雇用が安定することで、当法人で働く職員の生活も保障するということになります。利益を確保し、適切に再投下することは社会福祉法人にとって重要な使命です。

簡単ですが、2023年度決算報告を終わります。

1.法人単位資金収支計算書 【(自)2023年4月1日(至)2024年3月31日】

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	事業活動収入計(1)	14,516,789,000	14,507,124,866	9,664,134
	事業活動支出計(2)	13,919,363,171	13,429,191,598	490,171,573
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	597,425,829	1,077,933,268	▲480,507,439
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	197,748,000	206,421,480	▲8,673,480
	施設整備等支出計(5)	799,731,415	721,880,102	77,851,313
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲601,983,415	▲515,458,622	▲86,524,793
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	592,001,000	496,219,719	95,781,281
	その他の活動支出計(8)	644,549,000	604,250,599	40,298,401
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲52,548,000	▲108,030,880	55,482,880
予備費支出(10)		51,422,000	-	
		▲837,178		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		▲107,690,408	※1 454,443,766	▲562,134,174
前期末支払資金残高(12)		8,297,785,385	8,297,785,385	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		8,190,094,977	※2 8,752,229,151	▲562,134,174

2.法人単位事業活動計算書 【(自)2023年4月1日(至)2024年3月31日】

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	サービス活動収益計(1)	※4 14,386,708,369	14,105,276,081	※5 281,432,288
	サービス活動費用計(2)	※6 14,088,836,791	13,769,850,857	318,985,934
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	※7 297,871,578	335,425,224	▲37,553,646
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計(4)	122,200,004	96,258,296	25,941,708
	サービス活動外費用計(5)	64,426,112	68,294,174	▲3,868,062
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	57,773,892	27,964,122	29,809,770
経常増減差額(7)=(3)+(6)		355,645,470	363,389,346	▲7,743,876
特別増減の部	特別収益計(8)	212,120,213	198,592,172	13,528,041
	特別費用計(9)	220,805,810	265,100,664	▲44,294,854
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲8,685,597	▲66,508,492	57,822,895
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		346,959,873	296,880,854	50,079,019
法人税、住民税及び事業税(12)		257,400	1,926,200	▲1,668,800
法人税等調整額(13)		0	0	0
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)		※3 346,702,473	294,954,654	51,747,819
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	16,861,778,587	16,439,138,414	422,640,173
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	17,208,481,060	16,734,093,068	474,387,992
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	※11 466,065,000	1,492,721,519	▲1,026,656,519
	その他の積立金積立額(19)	※10 455,806,773	1,365,036,000	▲909,229,227
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	17,218,739,287	16,861,778,587	356,960,700

3.法人単位貸借対照表 【2024年3月31日現在】

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	9,860,334,002	9,343,985,095	516,348,907	流動負債	1,781,395,569	1,731,037,505	50,358,064
固定資産	25,466,067,671	26,104,776,844	▲638,709,173	固定負債	1,324,123,062	1,565,770,169	▲241,647,107
				負債の部合計	3,105,518,631	3,296,807,674	▲191,289,043
				純資産の部			
				基本金	1,330,021,445	1,330,021,445	0
				国庫補助金等特別積立金	7,072,597,070	7,350,370,766	▲277,773,696
				その他の積立金	※9 6,599,525,240	6,609,783,467	▲10,258,227
				次期繰越活動増減差額	17,218,739,287	16,861,778,587	356,960,700
				純資産の部合計	32,220,883,042	32,151,954,265	68,928,777
資産の部合計	※8 35,326,401,673	35,448,761,939	▲122,360,266	負債及び純資産の部合計	35,326,401,673	35,448,761,939	▲122,360,266

評議員・役員・管理職人事異動

【評議員・役員】

○就任

評議員 伊藤 基久 (令和6年2月2日付)
理事 藤井 康弘 (令和6年6月26日付)

○退任

評議員 鈴木 富士雄 (令和6年2月2日付)
理事 河村 博江 (令和6年6月26日付)

【管理職人事異動】

異動発令日:令和6年4月1日

5等級管理職	氏名	現職名	新職名
退任	村上 美智子	健康医療課長 兼 看護師長	
	富永 直樹	監査指導課長	
	吉田 脩一	天竜厚生会診療所長	
昇級	小田木 伸太郎	登呂の家デイサービスセンター係長	浜北学苑施設長
	宮嶋 裕明	天竜厚生会診療所医師	天竜厚生会診療所長
異動	藤井 祐三	常務理事 兼 子育て支援事業部長	常務理事 兼 就労支援事業部長
	木藤 祐二	常務理事 兼 監査指導部長	常務理事 兼 施設サービス事業部長 兼 統括施設長
	藤原 裕彦	常務理事 兼 財務部長	常務理事 兼 子育て支援事業部長
	石田 雄士	施設サービス事業部長 兼 統括施設長	財務部長
	高木 良樹	さいわい事務長	監査指導課長
	諸田 嘉人	地域福祉課長	健康医療課長 兼 天竜厚生会診療所事務長
	大石 直弘	さやの家施設長	地域福祉課長
	松野 聡	翠松苑施設長	給食事業課長
	大谷 晋也	天竜厚生会城北の家施設長	総務課長
	稲穂 浩美	厚生寮施設長	美浜施設長
	今泉 仁志	しんぱらの家施設長	厚生寮施設長
	森川 正志	総務課長	浜名施設長
	松尾 健太郎	浜名施設長	翠松苑施設長
	小杉 祐介	浜北学苑施設長	しんぱらの家施設長
	齊藤 和明	給食事業課長	天竜厚生会城北の家施設長
	小林 さおり	通所支援課長	さやの家施設長
	坂本 幸司	龍山デイサービスセンター所長	さいわい事務長
	山田 洋平	天竜厚生会診療所事務長	龍山デイサービスセンター所長
	中野 久実	子育てセンターとみがおか園長	子育てセンターかきのみ園長
	伊藤 孝	美浜施設長	子育てセンターさやのもり園長
福井 智美	子育てセンターさやのもり園長	子育てセンターみなみしま園長	
中村 訓子	子育てセンターみなみしま園長	子育てセンターとみがおか園長	

第13回実践発表会 開催報告

福祉サービス課
ソーシャルワーカー
白井 律臣



令和6年1月28日(日) アクトシティ浜松中ホールにて第13回社会福祉法人天竜厚生会実践発表会を開催しました。



▲開会式の様子。この雰囲気もう久しぶりです。

令和元年度以来の通常開催となった本発表会は、「多文化共生のこれまでとこれから」をテーマとし、従来よりも幅広い分野における関係者の方々にご来場いただきました。

多くの皆様に当法人の取り組みや現状を伝えられた事、それに対するご意見や反応を得られた事は、広く地域の方々に福祉への関心を促す事に繋がったと感じています。また、コロナ禍で希薄になりつつあった地域住民や自治会、関係団体との繋がりができたことも大きな成果の一つとなりました。今後も実践発表会を通じて社会福祉法人と地域の繋がりを強化するとともに、皆様のご理解を得ながら、更なる福祉の啓発に繋がられるよう努めてまいります。



▲実践発表3：完璧なチームワークで素晴らしい発表でした！

助成：日本社会福祉弘済会

後援：浜松市/静岡県社会福祉協議会/静岡県社会福祉士会/浜松市社会福祉協議会/
静岡銀行天竜支店/浜松いわた信用金庫/遠州信用金庫

▼当日のプログラム

多文化共生のこれまでとこれから
【実践発表1】 外国人職員採用の取り組みと今後の展望
【実践発表2】 障がい相談における外国籍の方への支援の現状と課題
【実践発表3】 外国につながる親子のまなざしと保育者の役割と期待
【実践発表4】 外国人材の雇用・定着のために
【実践発表5】 パネルディスカッション



▲実践発表5：当事者として2施設から5名の職員(内3名外国人職員)が参加し意見してくれました！

最後に、本実践発表会の開催に際し、助成・後援をいただきました皆様をはじめ、多くの皆様に支えられて無事開催できたことを、この場をお借りして深く感謝申し上げます。本年度も、令和7年2月1日(土)に開催を予定しております。多くの方のご来場をお待ちしております。

厚生労働省での出向を終えて

設備情報管理課
主任 事務員

神林 俊暢



令和4年4月から2年間、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室マンパワー企画係に出向してまいりました。福祉人材確保対策室は、介護人材確保を主目的とするマンパワー企画係の他、日本社会事業大学と中央福祉人材センターを管轄する係、社会福祉士と介護福祉士の国家試験等を管轄する係、外国人介護福祉士の受け入れに関する業務を管轄する係があります。

マンパワー企画係の業務内容は、一部ではありますが以下の厚生労働省のホームページからご覧ください。

厚生労働省ホームページはこちらから



介護人材確保に
向けた取組



介護の日・福祉人材確保
重点実施期間



被災地における福祉・
介護人材確保事業

みなさまは11月11日が「介護の日」ということをご存じでしょうか？私は出向するまで知りませんでした。ご存じの方もご存じない方も、是非、介護の日の前後で福祉人材センターなどが開催するイベントへの参加や協力をご検討いただくと嬉しく思います。

さて、厚生労働省で働いている方たちはすごい方々ばかりで、圧倒されるまま2年が過ぎました。出向中、みなさまから行政としての考え方やシステムをいつも親切に解説いただくなど、お忙しい中お時間を割いてくださり本当に感謝しております。福祉基盤課で強く感じたことは、「自己研鑽」を意識して実行されている方が非常に多かったことです。中々真似できることではないのですが、少しでもそういった部分を取り入れたいと考えています。

他にも「介護のしごと魅力発信等事業」でご協力いただいた大学や一般企業のみなさまの発言や考え方も非常に勉強になることばかりで、当法人の業務に生かせそうなこと、自身の考え方の幅を広げられることが多々ありました。この度、出向の機会をいただきましたこと、厚生労働省の方々はじめ関わってくださったみなさまに改めて感謝を申し上げます。



▲2年で食べた203杯のうち、筆者厳選の28杯の画像です。

全国社会福祉協議会での 出向を終えて

人事課
事務員

青山 睦実



●出向先での業務内容

全国社会福祉協議会(以下「全社協」という。)では、法人振興部に所属していました。主には全国福祉医療施設協議会(以下「医療協」という。)の業務を担当しており、また全国社会福祉法人経営者協議会(以下「経営協」という。)の業務にも携わっていました。

業務内容としては、医療協でも経営協でも協議会の適切な運営のため、資料作成や会議の開催に係る事務などを行いました。また、大きな会場を借りて参加者を募って行う全国福祉医療施設大会、セミナーや研修の開催準備、運営等も行いました。全社協では令和4年度より、厚生労働省から災害福祉支援ネットワーク中央センター事業を受託し、法人振興部が担当部署となっています。1月の能登半島地震から、当事業の役割がとて大きくなりました。被災地の避難所や福祉施設などへのDWATや福祉職員の派遣調整を一から行っていました。限られた人数の中で被災地の方のために仕事に取り組む方々、それをバックアップする方々を見て、福祉に対する熱い心を感じました。

●出向先で得たもの、学んだこと

私がこの出向で得たものは、なんといっても人脈です。医療協、経営協の協議員との人脈、全社協内での人脈、どちらも出向しないと出会うことがなかった方々でした。今後も長くお付き合いしたいと思える方に出会えたことは、私の大きな大きな財産となりました。

全社協職員という立場に立って福祉の現場を見ることは、施設のケアワーカーとソーシャルワーカーにしか就いたことのない私には、貴重な経験だったと思います。全社協に行ったことで、全国の社会福祉法人それぞれが、各地域のために尽力していることを知りました。また、全国の福祉関係者、特に経営者の方と出会える機会を得られたことは、視野が広がる良い経験になりました。

●出向の感想、お礼

天竜の自然豊かな地から、国の中枢機関が立ち

並ぶ霞が関の中が職場となり、大きな環境の違いを感じることもありました。その変化により大変なことも多かったですが、全社協の皆さまに支えられ無事に職務を全うできたと思っております。

最後に、法人振興部の皆さま、令和5年度全社協入社の同期の皆さま、温かく尊敬できる方々ばかりの環境でお仕事させていただきありがとうございました。また、今後とも末永くよろしくお願いいたします。



▲令和5年度全社協入社の同期との旅行!



▲法人振興部年忘れパーティー(部内)

仕事の魅力 紹介

在宅生活を 明るく応援したい!

宮脇ケアサポートセンター
主任 ケアマネジャー
河村 祐衣子

これが私の仕事!

在宅で生活されている高齢者の方・ご家族の方と一緒に必要なサービスを考えています。ご利用者の生活がより良いものとなるようサービス事業者や医療機関と連携し、ケアプランの作成をしています。



これからの目標

これまで当法人の入所施設や地域包括支援センター等で、ケアワーカーやソーシャルワーカーとして、様々な経験をしてきたことが自分の強みだと思っています。これまでの経験を活かし、ご利用者から信頼していただけるようなケアマネジャーになりたいと思います。



この職種を選んだ理由

高齢者支援の仕事に就きたかったため、高校は福祉科へ行きました。そこで介護福祉士の資格を取得したのですが、担任の先生から「社会福祉士やケアマネジャーの資格をとって、介護のスペシャリストになってね!」と言われたのがきっかけです。

仕事のやりがい

ご利用者やご家族から「良いところを紹介してもらえてよかった」「以前より明るい表情になった」と言ってもらえたときはやりがいを感じます。

印象的だった エピソード

ケアマネジャーになったばかりの頃、支援困難なご利用者の対応に悩み、週1回の定例会議で相談しました。その際「個人で受けている仕事ではない。事業所で受けている仕事だから、なんでも相談しながらやっていこう」と言ってもらえてとても心強く感じました。



ある日のスケジュール

朝礼



1日の予定確認や報告を行います
ちょっと一息♪

お昼休み



ケアプラン作成



一人ひとりに合ったプランを作ります

8:30

9:00

訪問

10:00

12:30

13:30

15:00

16:00

17:30

定例会議



毎週火曜日に行います

訪問



ご利用者のご自宅や事業所へ訪問します

退勤

お疲れ様でした!

仕事の魅力 紹介

健康管理はお任せください

しらいと
主任 看護師
伊藤 恭子

これが私の仕事!

主にご利用者の健康管理や薬の管理を行います。常勤医師がいないため医療ケアの判断を求められ大変なこともあります。医師の指示に基づく医療行為、感染予防や対策、緊急時の対応、看取りなど質の高いサービスを提供ができるよう他職種との連携も大切な仕事です。

仕事のやりがい

ご利用者と長い時間関わりを持つことができ、病気や体力低下で苦しんでいる方を近くで支え、命を助け回復のサポートをすることで、ご利用者とご家族までも笑顔にできることがやりがいです。

これからの目標

私自身、あと2年で定年を迎えます。健康で最後まで働かさせていただくことを目標とし、ご利用者と一緒に楽しいことをたくさんして笑顔で日常が過ごせるよう健康面で支えていきたいと思っています。

ある日のスケジュール

朝礼・申し送り



パソコンを囲んで皆で情報共有

お昼休み



皆でラジオ体操!

記録



ご利用者の様子を記録します

8:30

9:00

10:00

12:00

13:00

15:00

16:00

17:30

処置

入浴後の
処置をしています



回診

医師に報告
しています



申し送り・退勤

この職種を選んだ理由

看護師は子どものころからの夢でした。特別養護老人ホームのことは全く分からず入社したのですが、毎日忙しく楽しくご利用者と過ごし、気づいたら26年経っていました。コミュニケーションを大切にしながらご利用者の日常生活に寄り添った看護ができる良い職種だと感じます。

印象的だったエピソード

新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生しました。通常の介護・看護でさえ十分にできず、病院にも入院できず目の前で苦しんでいるご利用者を見て、何とかしてあげたいと皆で支援し続けたことです。もうあのような思いはさせたくないですし、したくないと痛感しました。



毎週水曜日の午後は回診日
嘱託医の関先生と看護師の仲間

みんな元気、みんなの笑顔

施設の

子育てセンターしばもと

リズム活動を見てもらったよ



思い切り走ると
気持ちいい

ピアノの音で
身体が自然に
動くよ



一緒にすると
楽しいね

週一回リズム活動の日があります。ピアノの音に合わせてのびのびと機敏に身体を動かす子どもたち。自分の出番を今か今かと待ち、笑顔で動き出す、その子ども達の様子をご家族に見ていただけるように参観日を設けました。ご家族が見守る中で、自己発揮できた子どもたちの表情は自信に満ち、輝いて見えました。

やまびこ児童クラブ

世代間交流



メッセージカード
読んでね!



高い山を
作ったぞ!



やまびこデイサービス
センターの一角を借りて
勉強や遊びを
楽しんでいます



子育てセンターやまびこの園児や、やまびこデイサービスセンターのご利用者との交流を深めています。夕方には、園児と一緒に鬼ごっこで遊ぶなど積極的に関わっています。また、やまびこデイサービスセンターの節分の行事では、鬼に変装して訪問したり、子どもたちが制作したメッセージカードをプレゼントしました。世代間交流を通して思いやりの気持ちや優しさを育てています。

活動紹介

体験して発見の毎日！

多機能型事業所いどめ

とある日の活動の様子

天竜厚生会いどめ

天竜厚生会ささえ



機能訓練
(歩行訓練)

生産活動
(洗剤小分け)



造形活動
(節分)



学習活動
(数の仕分け)



リラクゼーション
活動
(足浴)

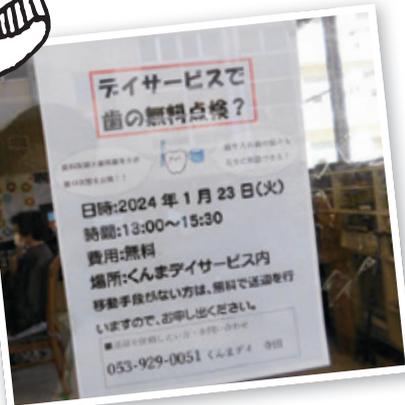


社会活動
(買い物体験)

生活介護(天竜厚生会いどめ)と放課後等デイサービス(天竜厚生会ささえ)の多機能型事業所として令和5年10月に開設しました。個別訓練を中心とした活動を行い、生活介護では作業や機能訓練を行い、放課後等デイサービスでは机上活動や外出での体験による生活訓練を行っています。ご本人の「できること」「やりたいこと」を大切にしながら支援を行っています。

くまみデイサービスセンター

歯科点検を行いました



歯科点検の
ポスター



歯科点検
の様子



くまみデイサービスセンター内で無料の歯科点検を実施しました。現在、熊地区や阿多古地区に歯科がないことから今回の取り組みを考えました。歯科医師と歯科衛生士が1名ずつ来所し、ご利用者や地域の希望する高齢者に歯の点検を行いました。点検を受けた方からは、「しばらく歯科を受診することがなかったから、この機会に歯の状態を診てもらえてよかった」という声が聞かれました。今回の点検で、歯科を受診するご利用者や地域の方も複数見られました。

JAICA草の根技術事業(草の根パートナー型) カンボジア王国幼児教育カリキュラムに基づく 「遊びや環境を通した学び」実践のための 基盤構築事業への協力について その4 第2回現地指導報告と事業の終了に向けて



子育てセンターみゅうのおか
園長
河合 育世

【第2回現地指導・モニタリング】

当法人のチームカンボジアメンバーが12月9日から8日間、現地指導のためにカンボジア王国バタンバン州を訪問しました。現地では事業のコンセプトである「遊びや環境を通した学び」をカンボジア全国に普及するため、普及活動の中心となるトレーナーを育成する研修が行われています。今回は、トレーナー研修のモニタリングや助言、ワークショップの実施を目的として訪問しました。

詳細はブログを
ご覧ください！



【ガイドブック完成式典】

本事業で作成されたガイドブックがカンボジア王国の承認を受け、全国で普及されることになりました。2月2日にプノンペンで行われた完成式典へチームカンボジアメンバーの代表者として参列し、教育大臣（兼副首相）の承認宣言を受け、ガイドブックが各州の代表者に手渡される場面に立ち会うことができました。



▲式典での集合写真

【事業終了に向けて】

令和2年からシャンティ国際ボランティア会(SVA)の協力団体としてスタートした本事業ですが、令和6年4月をもって一旦終了となります。事業を通して、現地の幼児教育関係者の皆様との親交が深まり、天竜厚生会やチームカンボジアに非常に親しみと信頼感を持って下さっていることも感じました。また、現地と当法人の園をつなぎ、多くの交流の機会を設けていただいたことで、園児・保護者・職員にとってカンボジア王国が身近な国になり、興味や親しみが増したと感じています。

引き続き、『カンボジア北西部の公立幼稚園における幼児教育のアクセスと質の改善事業』において、令和7年2月まで支援を行って参ります。今後もカンボジア王国の発展に協力していければと思います。多くの出会いと貴重な経験、学びの機会をいただき、心より感謝いたします。

チームカンボジア メンバーより

現地指導参加後の園の反応

子育てセンターさやのもり
保育教諭 矢部 さとみ



渡航前、園児や保護者に「カンボジア いったらっしょい」と温かく送り出していただき、帰国後は、アンコールワットを工作する子、「カンボジアの事聞かせて」と質問する子等、カンボジアへの関心が高まったことを感じました。

チームカンボジアに参加して

子育てセンターにじいろ
保育教諭 八木 良太



初めての経験ばかりで緊張の連続でしたが、実際に現地の方々と関わる中で子どもを思う気持ちは日本もカンボジアも一緒なんだと感じ、とても嬉しく思いました。

天竜厚生会の研修を終えて

社会福祉法人全国社会福祉協議会
アジア社会福祉従事者研修第37期生
リズキ アクマル

私はインドネシアのジャカルタにある、ソーシャルワーク・スケッチ財団で働いています。市役所などと連携しながら地域のニーズを特定したり、災害時には避難所で避難者のニーズの聞き取りを行ったりしています。ボランティアに対する研修や啓発活動も行っています。インドネシアの福祉はまだ充実していませんが、先進国の福祉はどのようなのか、どのような考えに基づいてサービスが提供されているかについて、本を読むだけでなく、実際に体験したいと思いアジア研修事業に参加しました。

天竜厚生会では、9月28日から1月17日までの約3か月半、障がい者施設や高齢者施設、子育てセンターや相談支援事務所、さまざまな場所で研修しました。一人ひとりのご利用者の状況は異なりますが、食事を含め介護の仕方など、その人に合わせた支援をしている場面を見て、とても大切なことだと思いました。

天竜厚生会は、施設サービスのほかにも、福祉教育や精神障がいの啓発活動、地域づくり、学習支援など、地域の方々に対してもいろいろな活動を行っています。特に福祉教育は、いろいろなことを考えるきっかけになりました。福祉はお金の支援など、目に見えることではありません。子どもの頃から、心から人を支えあう気持ちを育てることが大切だということを感じました。

天竜厚生会での研修を通して、社会福祉は社会の一部の人だけでなく、すべての国民にとって共通の問題であることを学びました。そして、エンパワーメントするための行動や考え方も重要だと考えるようになりました。

インドネシアに帰国後も、「誰でも幸せになる権利を持っている」という福祉の考え方に基づいたプログラムを作成し、まずは地域の子どもたちやその家族が幸せになれるよう、力を注ぎたいと考えています。

研修中、私の要望を取り入れてくださり、私の研修を全面的にサポートして下さった職員の皆さまに、心から感謝しています。ありがとうございました。



▲高校の授業で、インドネシアの福祉について話しました。



▲職員の方々と。素晴らしいチームでした!

「障がい児事業所版 グランドデザイン」の完成

前：やまぼうし
主任 保育士
現：子育てセンターかきのみ
保育教諭
大橋 典子



令和5年度に、当法人の障がい児通所支援事業所全体で、職員が目指すべき方向や果たすべき役割を明確にすることを狙いとして、グランドデザインと職員が大切にすべき考え方をまとめました。

当法人は、現在3か所の児童発達支援事業「天竜厚生会ちやるか」「こでまり」「そよかぜ」と3か所の放課後等デイサービス「天竜厚生会りいお」「やまぼうし」「天竜厚生会ささえ」を展開しています。約8年前の障がい児通所支援事業所設立当初は4か所でスタートし、それぞれの実情に合わせて事業を運営していくことで精いっぱいでした。しかし、現在では事業所も6か所となり、障がい児通所支援事業に対する思いを伝え合い、より良い支援の形を語り合えるようになりました。

平成24年の児童福祉法の改正により障がい児支援は、障がいの軽減を目指すものではなく、子ども達がそれぞれの地域での育ちと成人期に向けての暮らしを見据えた支援を行うものと転換されました。

また、「療育施設」と呼ばれることもある障がい児通所支援事業所ですが、「療育」の概念も治療や教育が中心の概念から、個人の発達の促しに加え、

家庭生活への支援や暮らしやすい地域への支援にまで概念が拡大しました。

自分たちの役割である「療育」とはなんだろう？という疑問が、今回のグランドデザインをまとめるきっかけでした。「できない」ことを「できる」ようにするための方法は様々あり、現場で働く私たちはその技術を会得していく必要があります。しかし、私たちは目に見える成果にとどまらず、子ども達が今後生きていく世界で自分の強みを活かして生きる力をつけていくことこそが「療育」の基盤であり、それを当法人の6事業所で共有し、子どもと日々向き合っていきたいと考え、このようなデザインをまとめました。

当法人において障がい児通所支援事業が始まって8年が過ぎました。社会のニーズに伴い国の施策も変化しています。それでも変わらないでいべき思いは、このグランドデザインによって残ります。

私自身は令和5年度で現職を離れましたが、このデザインが子ども達、保護者や職員とどのように共有され、事業が展開されていくか、今後に期待を込めて見守っていきたいと思います。

▲障がい児事業所版グランドデザイン



▲グランドデザインはこちらからご確認ください

入社式を開催しました！！

～入社式の裏側紹介～

前 人事課 事務員
現 あかいし学園
ソーシャルワーカー
川村 美帆



令和6年3月11日に入社式を開催しました。「大卒16名、短大・専門卒12名、高卒等10名 合計38名」の
新任職員が当法人へ入社しました。

新任職員の皆さんは緊張しながらも、笑顔がみられ同期との時間を楽しんでいただけたと思います。

さて、毎年開催される入社式ですが、無事に入社式を迎えるまでには様々な準備が必要となります。今回は入社式を開催するまでの裏側を少しお見せしたいと思います！

Web書類説明会

入社式では新任職員に提出してもらう書類が複数あるため、事前に書類説明会を実施します。書類の説明と共に、今後の研修の説明や社会人になるにあたっての心構えをお伝えします。



健康診断の準備

入社式後の健康診断に関連する書類も準備します。天竜厚生会診療所の協力してもらい実施します。

健康診断検査キットを準備中！



会場設営

前日には人事課と総務課で、入社式の最終準備を行います。

準備無事に終わりました！



看板貼替え

入社式当日の看板は、毎年天竜ワークキャンパスが貼替え作業をしてくれます。



今回は協力部署の一部しか紹介できませんが、その他多くの部署の協力があり、入社式を開催することができています。様々な事業があるからこそ出来る！当法人の強みでもあります。

新任職員の皆さん！天竜厚生会職員の一員として同期、そして職場の仲間と共に頑張ってください。皆さんの活躍に期待しています！



地域で働く場を作る ～天竜エコテラスでの実践～

就労支援課
主任 ソーシャルワーカー
蒔田 友美



天竜厚生会では令和6年度4月より天竜区青谷に新設された天竜エコテラス内浜松市新清掃工場及び新破碎処理センターにおけるプラスチック製容器包装の手選別作業を請負い、当法人の就労支援事業所のご利用者に新たな働く場を提供しています。当法人は浜松市の公共事業としてプロポーザルが開始された当初より協力企業として参画し、建設が開始されてからもその進捗を見守ってきました。

令和5年12月より試運転を開始しており、日々ご利用者と職員が作業に従事しています。機械により破碎され軽量・重量に振分けられたプラスチックごみが2系統4つのラインで分かれてコンベアを流れてきます。そこから禁忌品(刃物や電池、医

療廃棄物等)や不適切物(浜松市の指定ごみ袋や汚れたプラスチック容器等)を取り除き再生可能なプラスチックを選別します。試運転開始当初は予想以上のゴミの量やコンベアのスピードにご利用者・職員ともに作業を担っていくことに対する不安を感じていましたが、回数を重ねる中で作業効率や質も上がり、作業への参加を楽しみにしてくれる方も増えてきました。請負元企業の方にお褒めの言葉をいただけることもあり、日々の励みとなっています。



▲プラスチック製容器包装手選別作業の風景

ふじのくに型学びの心育成支援事業春合宿 ～地域における1DAY職業体験の実施～

地域福祉課
ソーシャルワーカー
長津 由希



静岡県を受託事業として実施している「ふじのくに型学習支援事業」の春合宿が3月24日～26日に2年ぶりに実施されました。小学4年生～高校生代の総勢44名が2泊3日を共に過ごしました。この春合宿のメイン活動となったのが1DAY職業体験です。浜松市天竜区二俣クローバー通り商店街の店舗やその他周辺店舗、当法人事業所の天竜福祉工場、子育てセンターすぎのこ、スーパーはまなの協力のもと、子ども達自身が興味のある体験先を選び、実際のお仕事を体験させていただきました。初めは緊張した面持ちの子ども達でしたが、徐々に緊張がほぐれ、働く大変さを感じると共に楽しさややりがいを見つけることが出来たことと思います。

初めて合宿に参加した私にとって、様々な個性を持つ子ども達との関わり方に苦慮することもありましたが、思わぬところで協力し合ったりお互いを気遣ったり、真剣な様子で活動に取り組む姿を見ることができ、子ども達の心の成長を実感することができました。

これからも子ども達の学びとなるような合宿を目指していきたいと思っています。



▲森のマルシェきこころにて品出しする様子

2024健康経営優良法人認証

前：総務課 課長
現：浜名 施設長
森川 正志



2022年度に続き、2023年度も健康経営優良法人認証に向けた取り組みを実施してきました。結果、2024健康経営優良法人に認定されました。以下、2023年度の主な取り組みについて紹介いたします。

【他機関との連携】

法人のみでは情報・分析・実践には限界があるため、協会けんぽ静岡支部や浜松市ウェルネス推進事業部に相談を掛け、各イベントの紹介や取り組み方法のアドバイス、課題の抽出等を行ってきました。

【研修の実施】

◆全職員向け

産業医による感染対策に関する研修

テーマ：新型コロナウイルス感染症

◆管理職向け

①産業医による健康経営に関する研修

テーマ：健康経営における健診

②女性特有の健康課題に関する研修

テーマ：女性の課題を考える

③喫煙による健康被害に関する研修

テーマ：新型タバコも吸っちゃダメ！

【その他の取り組み】

①禁煙デー（毎月第2水曜日）の設置

②法人本部構内ウォーキングコースのリニューアル

③はままつ健幸クラブへの参加

2024年度も引き続き健康経営への取り組みを推進していきます。

2023年度 福祉サービス第三者評価 受審状況

福祉サービス第三者評価（評価機関：一般社団法人静岡県社会福祉士会）を受審しました。受審部署は以下のとおりです。

No.	受審部署		評価実施期間
1	特別養護老人ホーム	さやの家	令和5年6月～令和6年3月
2	障害者支援施設	天竜厚生会アクシア藤枝	令和5年6月～令和6年3月
3	就労継続支援B型事業所	みのり	令和5年6月～令和6年3月

※第三者評価受審結果については順次、静岡県、各受審機関および当法人の第三者評価結果公表ページに掲載予定です。

静岡県

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shakaifukushi/1002960/1002962/index.html>

一般社団法人静岡県社会福祉士会

http://kir021235.kir.jp/nc/htdocs/?page_id=51

当法人ホームページ

<https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/koukai/hyouka/>



能登半島地震に係る 静岡D-WATの活動を終えて

さやの家
主任 ソーシャルワーカー
梶 裕一郎



今回、静岡D-WATとして令和6年2月25日～28日の4日間、石川県志賀町へ災害派遣に行きました。静岡D-WATは災害発生後の1月10日から災害派遣を続けており、私が派遣されたのは最終クールで、静岡D-WAT撤退、避難所運営を地域移行するタイミングでした。

被災後、2ヶ月が経過している志賀町においては、ライフラインが復旧しつつあり、一部の飲食店も営業している状況でした。避難所で生活をしている方々も自宅の片付けなど、徐々に避難所を出て、日常に戻っている中で、避難所に残っているのは、高齢者や精神疾患を抱えている方など、要配慮者の方々でした。そうした状況の中、今までのD-WAT活動で派遣された方々が蓄積した要配慮者の情報を地元の保健師や地域包括支援センター、民生委員、生活支援コーディネーターに繋

いで、避難所運営を地域移行していくことが私たちの最終ミッションでした。被災や長期の避難所生活にて精神的疲労が募っている要配慮者を各関係者及び関係機関へと引き継いでいく中で、普段から地域住民との繋がりを大事にし、信頼関係を構築しておくことも災害への備えとして重要であると改めて感じました。

今回の貴重な経験を活かし、施設相談員としてどう行動するべきか、改めてシミュレーションし、施設運営やBCP対策に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、被災された方々がいち早く安心した生活を送ることができるようにお祈り申し上げます。



▲避難所にて他県D-WATとのミーティング

被災地ボランティア活動について

しらいと
ケアワーカー
瀬戸 漠



私は、令和6年能登半島地震による被災状況を知る事で、当法人の基本理念「九十九匹はみな帰りたいれど、まだ帰らぬ一匹の行方訪ねん」に基づき、法人職員として私なりの役割を務めたいという思いと、今後想定される東海エリアで震災が発生した際に私が出来る役割の幅を広げたいという思いがありました。そのため、2月10日～16日の7日間、石川県輪島市で全壊被害に遭われた認知症高齢者グループホームのご利用者が避難されている石川県かほく市の避難所でボランティアとして支援させていただきました。

避難所では、他県からの応援職員と共に支援にあたりました。ご利用者のアセスメントを行い意見交換することで、応援職員と連携し、これから

の活動の基礎作りをしました。ご利用者支援では、ユマニチュードの技法で「ケアの4つの柱」と言われる「見る・話す・触れる・立つ」を実践し、避難所での生活でも人としての尊厳が確保されるように支援にあたりました。石川県の方言が聞き取れない事もありましたが、ジェスチャーを織り交ぜて笑顔で傾聴する事でご利用者との信頼関係を構築できたと思えます。これからも法人職員として基本理念に基づいて行動したいです。



▲避難所の外観です。近隣には商業施設があり、不足品などを購入できました。

助成・補助事業完了報告

- 【助成団体名】 公益財団法人JKA
 【事業名】 福祉車両・就労支援車両等の整備
 【事業所】 天竜福祉工場
 【実施事業】 送迎車両の整備
 【総事業費】 3,361,390円
 【助成金額】 2,025,000円

この度、公益財団法人JKA様の助成を受け、天竜エコテラスでプラスチックごみの手選別作業を行うご利用者の送迎のための車両を整備することが出来ました。今後ご利用者が従事する作業内容や働く場の拡充、地域にとって欠かせない役割を担う貢献的な仕事出来るよう役立ててまいります。公益財団法人JKA様に心より感謝申し上げます。



- 【助成団体名】 一般財団法人第一生命財団
 【事業名】 子どもの未来を応援する保育所等助成事業
 【事業所】 子育てセンターにじいろ
 【実施事業】 ウッドフェンス・絵本350冊の整備
 【総事業費】 911,800円
 【助成金額】 911,800円

この度、一般財団法人第一生命財団様より絵本350冊、ウッドフェンス15台を助成していただきました。絵本は感性と想像力を育みます。また、広い園庭にウッドフェンスを設置することで安全な環境を創ります。

未来を担う子どもたちのために魅力ある園づくりに役立ててまいります。一般財団法人第一生命財団様に心より感謝申し上げます。



- 【寄贈団体名】 あいおいニッセイ同和損保
 【事業名】 MS&ADゆにぞんスマイルクラブ
 【事業所】 天竜厚生会グループホーム
 【実施事業】 介助式車椅子

当事業所は、夜間や休日を中心に生活援助及び身辺介助などの支援を行っております。寄贈頂きました車椅子を活用することにより、ご利用者が安心して外出や行事に参加できるようになり生活の幅が広がりました。あいおいニッセイ同和損保様に心より感謝申し上げます。



今年度定年を迎える方に
一言頂きました

38年間の思い出

天竜厚生会に入職して38年間、8施設での勤務をさせていただきました。当初は福祉に対し何も知識がなく、医療経験年数の少なかった未熟な私を受け入れて下さりました。また多くの職員に指導を受け、支えていただきました。

当時の嬉しかった事や今でも忘れられない出来事があります。障がい施設で意思疎通が出来ない寝たきりのご利用者のことです。当時は中村健治医師1名であり、その頃の医療行為は現在より少なかった記憶があります。毎日、医療処置を行うなかで、ご利用者と関わる時間がある時には寄り添って声掛けをしていました。ある日、いつもの様に処置を行っていた時、声を掛けるとまばたきをしたのです。その反応に驚きました。嬉しくて何度も話しかけると再度まばたきをして合図して



あかいし学園
主任 准看護師
大隅 恵子

くれたことに対して感動したことが心に残っています。嘘のような本当の出来事でした。意思疎通が出来なくても耳は聞こえており、気持ちが伝わったのだと実感しました。様々な経験を経て、看護職員として、ご利用者と向き合って接する事を心掛けて業務に努め、多職種間での連携や人間関係の重要さも実感しました。

38年間には悲しい体験もありましたが、楽しかった思い出が数々あります。それぞれの施設での行事、運動会やクリスマス会、一泊旅行の付き添い等、貴重な体験をさせていただきました。何とか、これまで仕事を続けられたのは、一緒に働いて助けて下さった方々のおかげです。感謝いたします。長い間、お世話になりありがとうございました。

ありがとうすべてに感謝

まず初めに文章を書くのもパソコンを打つのも苦手な私ですが、折角の機会をいただいたので、これまでを振り返ってみたいと思います。

私は介護に対して肉体的に大変というイメージを持っていました。知人から介護の仕事を勧められた時も自分に勤まるか不安があり、すぐにはやってみようと思えませんでした。ですが、我が家にも高齢の義母がおり、介護の必要性や関心は常に持っていました。そんな時、アネックス百々山が開設すると聞き、初心者でも働きやすい環境ではないかと思い平成16年11月より天竜厚生会で働くことになりました。

介護に関する知識がない私にとって移乗・排泄・入浴・食事等全てが難しく、先輩達の介護技術を見て学び、知識を付けました。

アネックス百々山では1ユニット10人と少人数な為、アットホームな雰囲気の中、ご利用者一人ひとりの想いに寄り添った支援を行いながら毎日



浜名
ケアワーカー
富部 温子

充実して働くことができました。

次に配属されたのは翠松苑です。今まで経験のなかった徘徊など認知症による行動症状に衝撃を受け、対応に戸惑ったことを覚えています。認知症や難聴によりコミュニケーションが取りづらかったのですが、敬老会や厚生会まつり等の行事には、一緒に楽しく参加したことも良い思い出です。

現在、障害者支援施設浜名に配属されて11年になります。高齢者施設しか経験したことがなく不安でしたが、ご利用者の元気なあいさつと、日々のコミュニケーション、優しい笑顔で癒され励まされて楽しく働いています。

3施設で得た知識は、貴重な財産です。残り数か月ですが、多くの職員との出会い、今まで指導してくれた先輩方、私と関わってくれた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

苦情受付の公表について(定期報告)

原則として、令和5年12月～令和6年3月までに、当法人にいただいた苦情等は次のとおりです。

貴重なご意見ありがとうございました。

◆受付件数 ○法人全体：89件（うち公表可54件）

◆主なサービス種別ごとの受付代表事例

障がい者関係事業 21件（うち公表可13件）

施設名	浜名(障がい者支援施設)	是正日	令和6年2月13日
件名	令和6年1月分利用料の請求誤りについて		
ご意見/ご要望の内容	「本人は令和5年11月の誕生日で18歳になっており、受給者証も12月に更新されている。相談支援専門員から18歳以上は食費のみになると聞いていたが、請求に誤りがないか。」とお母様から連絡がある。		
対応内容	ご家族へ誤った請求書を送付してしまったことを謝罪し、正しい請求書を送付いたしました。原因として、児童から成人になったことに請求担当者が気付かなかったこと、更新月を受入表に記載していなかったことが挙げられます。是正として受給者証の更新がある場合はその更新月を控え、確認できるようにし、また受給者証のコピーを更新時にとらせていただくこととしました。		

高齢者関係事業 17件（うち公表可10件）

施設名	百々山(特別養護老人ホーム)	是正日	令和5年12月18日
件名	家の鍵が見当たらない件について		
ご意見/ご要望の内容	ショートステイ利用時の自宅の鍵の管理について方法を定めて、施設とも管理方法について共有しているが、鍵が見当たらない。		
対応内容	ご家族に謝罪し、経緯を説明しました。原因としてソーシャルワーカーは送迎ドライバーに鍵の取扱いについて書面と口頭にて説明をしていましたが、それまで施設へ持ってくることとしていた鍵を「自宅に設置したキーボックスに入れるよう変更した」ことについて、口頭で伝達したのみであったため送迎ドライバーは失念し、施設に持ち帰ってしまいました。是正として、鍵の取扱いを記した書面に追記すると共に、相手に伝わるよう伝達することに努めることとしました。		

地域福祉関係事業 20件（うち公表可9件）

施設名	天竜厚生会ヘルパーステーション(訪問介護事業所)	是正日	令和6年2月16日
件名	トイレのドアが開かなくなったことについて		
ご意見/ご要望の内容	訪問するとご本人から「先週(2月9日(金))掃除が終わってあなたが帰った後、トイレのドアが開かなくなった。近所で作業していたおじさんを見てもらった。鍵がかかっていたみたいで外からコインで筋のところを縦にしたらすぐ直った。なぜか筋が横になっていたみたい。」と話があった。		
対応内容	申立者には、その場で謝罪をしました。原因としてヘルパー自身は、ドアに鍵をかけたつもりはないが、ドアノブを拭いていた際に、当たって鍵がかかってしまったと思われます。「今後は、トイレ掃除の際にドアノブの鍵の状態を確認すること、終了後にトイレのドアが問題なく開くことを確認します。」とお伝えしました。「またお願いします。」とのこと言葉をいただきました。今後は、トイレのドアノブを拭いた後は、内側の鍵がかかっていないかその都度確認するようにします。また、トイレ掃除終了後にトイレのドアが開くかどうかを確認します。		

子育て関係事業 8件（うち公表可6件）

施設名	天竜厚生会ささえ(放課後等デイサービス)	是正日	令和6年3月6日
件名	下校時刻になっても迎えが来ない件について		
ご意見/ご要望の内容	本日利用予定となっていると思われ、13時半下校で待っているが迎えが来ない。状況を確認してほしい。		
対応内容	連絡を受け送迎状況を確認、謝罪のうえ、すぐに迎えに伺いました。また、対象児の保護者にも報告、謝罪を行いました。原因として、学校の下校時刻の管理を特定の職員が一人でやっている状況がありました。また、通常では朝の申し送り時に下校時刻の確認をしていますが、通常通りという思い込みから確認作業を失念しており、それに対して他の職員からの確認も行われていませんでした。 是正として、 ・朝の申し送り時には必ず下校時刻について確認を行う ・下校時刻の管理は複数名で業務を担当し、ダブルチェックができる確認体制を整える ・学校への迎えの際には当日の利用児童が引き渡し場所にいないか確認をする こととしました。		

受け付けた苦情等は、記載した事例の他にも、以下の天竜厚生会ホームページに掲載しております。

★URL：<https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/koukai/complaints/list/>



【お問い合わせ】
監査指導課
TEL:053-583-1424

善意の皆さま

ご 寄 付

ありがとうございます
◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- しらいと
[12月]
白糸地区社会福祉協議会様
- 厚生寮
[3月]
寺田 泰人様・犬塚 早苗様
小池 俊昌様・小池 道子様
[4月]
河口 貴利野様・河口 惣一様

ご 寄 贈

ありがとうございます
◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- 福祉サービス課
[12月]
赤佐6区シニアクラブ若葉会様
- 天竜ワークキャンパス
[2月]
吉田 志音様
- 天竜厚生会城北の家
[2月]
ミニストップ浜松鹿谷町店様
- 本部・天竜厚生会グループホーム
[3月]
伊藤 勝規様
- 天竜厚生会グループホーム
[3月]
あいおいニッセイ同和損害
保険株式会社様

ボ ラ ン テ ィ ア

◎貴重なお時間を頂き
ありがとうございました。

入所支援課

- 浜名
野口 めぐみ様
老川 裕美様
洗濯物整理ボランティア様
オカリナボランティア様
朗読ボランティア様
縫製ボランティア様

- 浜北学苑
天竜おはなしの会様
縫製ボランティア様
さらだの会様
本榎 美智子様

- 清風寮
渥美 育子様
鈴木 政子様
小池 ちとせ様

- 百々山
笹竹 久江様
Nalu Pili Aloha様
鈴木 とも子様
佐口 スズヨ様
内山 かおる様
伊藤 伸也様

- 翠松苑
大野 博志様
赤佐6区花の会様
長崎 邦子様
本榎 美智子様
メイリ・ローシェン様

- しんぱらの家
有谷 まり子様
静岡県立浜北西高等学校
ボランティア部様

- 天竜厚生会城北の家
吉田 たい子様
伊佐治 悦子様
高山 かつ子様
富田 廣子様

- さやの家
赤十字奉仕団様

- しらいと
笠井 喜美子様

フラワーショップ蝶々園様
桐部 敬子様
佐野 孔彦様
青山 秀子様

- さいわい
遠州一座様
- 天竜厚生会いとめ
南部マジック様
大石 ひろみ様

地域福祉課

- やまびこデイサービスセンター
フラダンス レファ様
二胡天竜様
ブライトローズ&恵子様
ぴよぴよの会様
どうしぐわあ様

- 龍山デイサービスセンター
龍山ハーモニカバンド様
辻 義夫様
鈴木 良美様
鈴木 綾様

- くまデイサービスセンター
太田 さをり様
熊幼稚園様
熊小学校(1年生、2年生)様

- しんぱらの家デイサービスセンター
さくらぼクラブ様
笠井ハーモニカ同好会様
遊弦楽団「鳳千華」様
ロゼラニ フラチーム様
第一興商様
DFバンド様
積志寿大学院るんるんコーラス様
浜北笑いヨガクラブぴよぴよの会様
らいと♪ハーモニー様

- さやの家デイサービスセンター
瀧本 真央様

- 宮脇デイサービスセンター
石上 清様
後藤 昭様

- 登呂の家デイサービスセンター
高山 はるみ様
メロマーネ様

- さいわいデイ・ケアセンター
内山 佳織様

- 地域福祉課
 - 亀島 貴郁様
 - 尾崎 文菜様
 - 鈴木 峻耶様
 - 山下 侑子様
 - 尾上 桜様
 - 細川 風輝様
 - 小堀内 星夏様
 - 増田 佳純様

子育て支援課

- 子育てセンターすぎのこ
 - 小倉 啓子様
 - 天竜おはなしの会様
 - 小出 喜道様
 - 鈴木 雅志様
 - 鈴木 喜久様
 - 鈴木 政巳様
 - ちどり様
- 子育てセンターやまびこ
 - 天竜おはなしの会様
 - 松井 章泰様
 - 鈴木 雅志様
 - 鈴木 喜久様
 - 鈴木 政巳様
 - 小倉 啓子様
- 子育てセンターこまつ
 - 室内 房世様
 - 北嶋 史雄様
 - 野末 将平様
- 子育てセンターきぶね
 - 足立 篤子様
 - 松下 さくら様
 - 竹内フィルム様
 - 松山 嘉啓様
- 子育てセンターしばもと
 - 田部井 詢子様
 - 松井 千夏様
 - 鶴田 則子様
 - 太田 喜久子様
 - 松浦 信子様
 - 川上 節子様
 - 渡瀬 和子様
 - 大久保 利枝様
 - 加藤 利衣子様
 - 牧澤 しず枝様
 - 松本 侑里様
 - 中谷 亜沙実様
 - 市川 良子様
 - 高柳 あきの様
 - 青島 和子様
- 子育てセンターしんぱら
 - 折金 早苗様
 - 長嶋 由季子様
 - 金子 とみ子様
 - 松浦 信子様
 - 大久保 利枝様

- 野中 不二夫様
- 田坂 満恵様
- ちどり様
- 青嶋 和子様
- 大橋 和子様
- ひらまつファーム様
- 竹内 博之様

- 子育てセンターなかぜ
 - 松浦 みゆき様
 - 渥美 京子様
 - 渡瀬 和子様
 - 鈴木 秀美様

- 子育てセンターかきのみ
 - さざんか組祖父母様
 - 太田 礼子様

- 子育てセンターみゆうのおか
 - おはなしの会様
 - 大野 孝志様
 - 一瀬 雅子様

- 子育てセンターさやのもり
 - おはなしのたね掛川様
 - 梅田 昭好様
 - 木藤 あまね様

- 子育てセンターひだまり
 - 保護者会様
 - 鈴木 和枝様
 - 大井 保子様
 - 和田 とし子様
 - 西島 千恵子様
 - 佐藤 文子様
 - 池上 優美子様
 - 小倉 智子様

- 子育てセンターとものもり
 - お話しのたね様

- 子育てセンターみなみしま
 - 鈴木 美帆様
 - 川島 厚枝様
 - 徳山 晴夫様
 - 桑原 たみ子様
 - 村松 義明様

- 子育てセンターとみがおか
 - えほんを楽しむ会様
 - 井口 君夫様
 - 馬淵 富美子様

- 子育てセンターにいじろ
 - 岩瀬 千佳様
 - 安間 良子様
 - 川畑 久美子様
 - 下坂 知美様
 - 森下 綾子様
 - 瀬山 佳恋様
 - 片岡 素乃美様
 - 雨宮 渚様
 - 小野田 裕美様
 - 森田 優菜様

- 伊藤 喜章様
- 村松 芳夫様
- 浜野 直子様
- 松田 みな実様
- 太田 乙江様
- 松浦 果子様
- 齋藤 薫様
- 後藤 愛美様
- 鈴木 摩実様
- 川村 美穂様
- 丸尾 あいり様
- 寺田 紗莉菜様
- 渡邊 実可子様
- 村上 牧様
- 雨宮 慎也様
- 西村 絵理様

- すずかけっこ保育園
 - 後藤 富位様
 - 鈴木 由朗様
 - 後藤 誠一様
 - おはなしのたね掛川様

- なぎさ保育園
 - 豊田 一仁様
 - 彦坂 一夫、育子様
 - 子ども読書アドバイザー青島智深様
 - 人形劇とまと様
 - 豊田 孝子様
 - 琴紫会様
 - 河田 弘子様
 - 穴水 春男(正太寺)様
 - すこやかファーム様

- ふたまた児童クラブ
 - 生熊 儀丈様

- 天竜病院ひまわり保育園
 - 保護者会様
 - 渥美 友里様
 - 青柳 りさ様

福祉サービス課

- 福祉サービス課
 - 全国社会福祉協議会
 - アジア研修生様
 - 静岡県立浜北西高等学校
 - 女子テニス部様
 - 静岡県立浜北西高等学校
 - 情報処理部様
 - 静岡県立浜北西高等学校
 - ボランティア部様
 - 天理教北遠支部様

子育て部門エリアパンフレット が新しくなりました!

子育て支援課
事務員

太田 真央



令和6年4月1日より、当法人子育て部門のエリアパンフレットが新しく生まれ変わりました!当法人の特色である7つの活動がイラスト化され、明るく楽しいデザインに仕上がっています。

ホームページには電子ブック版もご用意いたしました。是非、新しくなった子育て部門エリアパンフレットをご覧ください!



▲電子ブックはこちらから!

毎年恒例の天竜厚生会 納涼花火大会を開催します!

令和6年7月19日(金) 19:30~20:00
雨天時は7/25(木)、8/2(金)で延期になります。

場所 天竜厚生会研修センター駐車場

夏恒例の天竜厚生会納涼花火大会はご利用者や地域の方々に花火を楽しんでいただくことを目的に開催しております。天候による開催の可否はホームページにてお知らせします。皆様のご来場お待ちしております。



MEW FES!! 開催します!

令和6年7月30日(火) 10:00~16:00

場所 サンストリート浜北

イベントに合わせて施設ご利用者の作品も展示する予定です。詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。皆様のご来場お待ちしております。



お問合せ先

福祉サービス課

TEL:053-583-1123

